

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

2024年度 授業内容(シラバス)

総合デザイン学科 インテリアデザインコース 専門教育科目

科目名	教員名	授業形態	年次	ページ
デザイン論	向井 新二郎	講義	1	1
空間デザイン論	向井 新二郎	講義	1	3
キャリアプログラムⅠ	永松 照基	講義	1	5
PC基礎	永松 照基	演習	1	7
空間基礎Ⅰ	梶山 武志	演習	1	9
空間基礎Ⅱ	梶山 武志	演習	1	11
商空間デザインⅠ	小林 文	演習	1	13
住空間デザインⅠ	小林 文	演習	1	15
デッサン	山口 彰広	実習	1	17
空間スケッチ	山口 彰広	実習	1	19
基礎造形	梶山 武志	実習	1	21
モデリング技法	梶山 武志	実習	1	23
CADⅠ	山口 彰広	実習	1	25
空間表現Ⅰ	山口 彰広	実習	1	27
材料学	渡部 良子	講義	2	29
建築知識	渡部 良子	講義	2	31
キャリアプログラムⅡ	中森 恭平	講義	2	33
キャリアプログラムⅢ	中森 恭平	講義	2	35
CADⅡ	永松 照基	演習	2	37
空間表現Ⅱ	永松 照基	演習	2	39
商空間デザインⅡ	梶山 武志	演習	2	41
住空間デザインⅡ	梶山 武志	演習	2	43
キャリア演習Ⅰ	中森 恭平	演習	2	45
キャリア演習Ⅱ	中森 恭平	演習	2	47
家具デザイン	梶山 武志	実習	2	49
照明デザイン	梶山 武志	実習	2	51
インテリアデザインⅠ	向井 新二郎	実習	2	53
インテリアデザインⅡ	向井 新二郎	実習	2	55
空間設計論Ⅰ	永松 照基	講義	3	57
空間設計論Ⅱ	永松 照基	講義	3	59
CADⅢ	永松 照基	演習	3	61
空間表現Ⅲ	永松 照基	演習	3	63

科目名	教員名	授業形態	年次	ページ
商空間デザインⅢ	永松 照基	演習	3	65
住空間デザインⅢ	永松 照基	演習	3	67
建築デザイン	梶山 武志	実習	3	69
生活環境デザイン	梶山 武志	実習	3	71
インテリアデザインⅢ	高田 知明	実習	3	73
インテリアデザインⅣ	高田 知明	実習	3	75
卒業制作	向井 新二郎	実習	3	77
特別講座	中森 恭平	演習	2	79

科目名	デザイン論			教員名	向井 新二郎		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	4時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4110

授業目的と到達目標

デザイン論では、人とデザインの関わりについて様々な方向から学んでいく。社会におけるデザインの領域と必要性、日常生活との関りとそれを考え実現していくことの楽しさを感じて貰う。

授業概要

デザインの基礎となる部分で、人の感覚を理解し、どのようにモノを観てるのか、見えるのかを事例を見ながら学んでいく。世の中に在る様々な事例を紹介しながら、インテリアデザイン・建築デザインの知識と感性を広げていき、演習課題・実習課題に繋げていけるようにする。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は、インテリアデザイン会社、建築設計事務所、ランドスケープデザイン会社での設計から現場監理の経験を経て、現在は自ら建築設計事務所を運営しつつ、住宅・店舗・医療施設に関わるデザインから設計監理業務を中心に活動しています。その実務経験を元に指導しています。
出席	20%	
授業態度・コミュニケーション	20%	
レポート (毎回)	60%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	デザイン論			教員名	向井 新二郎		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	4時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4110

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス、スケールについて
第2回	商品とデザインの意義、形の理由
第3回	視覚の特性について
第4回	図と地の関係
第5回	平衡感覚について
第6回	形態のダイナミクスについて
第7回	機能美について
第8回	コンセプトと商品
第9回	アートと美術館
第10回	本と出会う場所
第11回	人体寸法と家具
第12回	平面表現と立体空間表現
第13回	素材について
第14回	レイアウトについて
第15回	デザインと問題解決

受講上の注意

インテリアに関連する異なる講義と様々な画像をベースに、毎回デザインに関わる事例紹介をする為、見逃すことの無いよう毎回の出席が重要です。

特記事項

講義の最後にレポートという形で、提出物がある為、そのレポートを成績判定の基準にします。

科目名	空間デザイン論			教員名	向井 新二郎		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	4時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4111

授業目的と到達目標

空間デザイン論では、人とデザインの関わりについて様々な方向から学んでいく。社会におけるデザインの領域と必要性、日常生活との関わりとそれを考え実現していくことの楽しさを感じて貰う。

授業概要

デザインの基礎となる部分で、インテリアや建築の全体像とそれを構成する部分とを画像を使い、世の中に在る様々な事例を紹介しながら、インテリアデザイン・建築デザインの知識と感性を広げていき、演習課題・実習課題に繋げていけるようにする。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は、インテリアデザイン会社、建築設計事務所、ランドスケープデザイン会社での設計から現場監理の経験を経て、現在は自ら建築設計事務所を運営しつつ、住宅・店舗・医療施設等に関わるデザインから設計監理業務を中心に活動しています。その実務経験を元に指導しています。
出席点	20%	
授業態度・コミュニケーション	20%	
総合テスト	60%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	空間デザイン論			教員名	向井 新二郎		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	4時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4111

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス カフェのデザイン
第2回	間仕切の可能性
第3回	開口部のデザイン
第4回	扉の種類とデザイン
第5回	光りについて (自然光、人工光)
第6回	床のデザイン (高さの効果)
第7回	変化に飛んだ住まい達
第8回	公衆トイレの変化
第9回	安藤忠雄と建築
第10回	藤本流ジブリの世界観について
第11回	伊東流デザインの世界
第12回	限的な素材活用法
第13回	藤本的デザイン思考
第14回	妹島のデザイン思考
第15回	インテリアデザイナーの仕事

受講上の注意

インテリアに関連する異なる講義と様々な画像をベースに、毎回デザインに関わる事例紹介をする為、見逃すことの無いよう毎回の出席が重要です。

特記事項

講義の最後にレポートという形で、提出物がある為、そのレポートを成績判定の基準にします。

科目名	キャリアプログラム I			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4 時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4406

授業目的と到達目標

前期には美術とデザイン、それぞれの社会での役割を学びました。後期は専門学校生徒として社会とのコミュニケーションに慣れる為にも積極的に発言出来る事を目標とする。

授業概要

全15回の授業をおよそ4つに分け、日常生活のエピソードから、INT 実習室常設の専門雑誌よりテーマを選び論点を整理して意見を発表する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
出席	20%	
コミュニケーション	20%	
プロセスチェック	20%	
プレゼンテーション	40%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

実習室常設の環境・建築・インテリア専門雑誌。

参考 URL

科目名	キャリアプログラム I			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4 時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4406

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	ガイダンス 就職について
第 2 回	ガイダンス コミュニケーションの大切さ
第 3 回	ガイダンス 就職先としての会社
第 4 回	自己紹介から自己分析 各自
第 5 回	自己紹介から自己分析 各自
第 6 回	インテリアデザインコースとしての会社
第 7 回	インテリアデザインコースとしての会社
第 8 回	インテリアデザインコースとしての会社
第 9 回	インテリアデザインコースとしての会社
第 10 回	前期課題のまとめ
第 11 回	前期課題のまとめ
第 12 回	前期課題のまとめ
第 13 回	総合的プレゼンテーション
第 14 回	総合的プレゼンテーション
第 15 回	総合的プレゼンテーション

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	PC基礎			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4403

授業目的と到達目標

思いついたアイデアをデザインしプレゼンテーションする。《理解し、考え、伝える》そういう創作活動の表現手法のひとつとして、パーソナルコンピュータ上で使用できる多種ソフトウェア (Adobe Illustrator、Photoshop、Microsoft office、VectorWorks、Strata 等) の活用がある。デザイン表現のためのコンピュータとソフトウェアの運用法入門である。

授業概要

半期 15 回の演習において、各ソフトごとの課題を作成することで、必要最低限のコンピュータの基本操作、ソフトウェアの基本操作並びに、周辺機器の基本操作を習得。それらを統合したコンピュータ全般の基礎的運用方法も併せて習得する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	コンピュータによる設計図書の作成業務、コンピュータによる完成予想図作成業務の実務経験を生かして、コンピュータの運用方法や図面作成アプリケーションの使用方法を教える。
出席	20%	
授業態度	20%	
理解度	30%	
プレゼンテーション	30%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

特になし

参考 URL

科目名	PC基礎			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4403

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス 主旨、概要、スケジュール説明。アナログデザインとデジタルデザインの基礎知識。
第2回	パーソナルコンピュータ及び周辺機器の基礎知識、基本操作。
第3回	アプリケーション体験 (総合的な解説と操作)
第4回	アプリケーション演習 (文書作成)
第5回	アプリケーション演習 (表計算)
第6回	アプリケーション演習 (図面作成)
第7回	アプリケーション演習 (図面作成)
第8回	アプリケーション演習 (CG)
第9回	アプリケーション演習 (CG)
第10回	アプリケーション演習 (図形作成)
第11回	アプリケーション演習 (図形作成)
第12回	アプリケーション演習 (図形作成)
第13回	アプリケーション演習 (画像編集)
第14回	アプリケーション演習 (画像編集)
第15回	作品プレゼンテーション、総合評価

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	空間基礎 I			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	6205

授業目的と到達目標

インテリアデザインを学び、表現するための入門として、思い考えたカタチを正確に先方に伝達する手法として、製図とスケッチを学ぶ。

授業概要

基礎製図の知識を学び、図を描く事に慣れる。実務の現場図面や、各種資格テストの過去問題をトレースし、スケール感とスピード感を持ちつつ正確な図面を描く。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
出席	20%	
授業態度	20%	
理解度	20%	
プレゼンテーション	40%	
	%	

教科書

スケッチ感覚でパースが描ける本 出) 彰国者 著) 中山繁信

参考書・参考文献

インテリア設計の実技 プレゼンテーション技法と課題演習 出) 彰国者 著) 村野 聡

参考 URL

科目名	空間基礎 I			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	6205

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	ガイダンス、各種道具の使い方準備
第 2 回	線と文字、設計図を見て学ぶ
第 3 回	インテリア製図の基礎知識
第 4 回	インテリア製図の読み描き 01
第 5 回	インテリア製図の読み描き 02
第 6 回	インテリア製図の読み描き 03
第 7 回	インテリア製図の読み描き 04
第 8 回	インテリア製図の読み描き 05
第 9 回	マイルームプラン 01
第 10 回	マイルームプラン 02
第 11 回	マイルームプラン 03
第 12 回	マイルームプラン 04
第 13 回	マイルームプラン 05
第 14 回	マイルームプラン 06
第 15 回	総括

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	空間基礎 II			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	6206

授業目的と到達目標

前期に学んだ基礎をもとに、各自の考えた“カタチ”を、コンセプトワークからプレゼンテーションまで進歩させる。

授業概要

環境・建築・インテリア・店舗・家具などの書籍から、各自で選んだ造形をスケッチで表現しその特長を学びプレゼンテーションする。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
出席	20%	
授業態度	20%	
理解度	20%	
プレゼンテーション	40%	
	%	

教科書

スケッチ感覚でパースが描ける本 出) 彰国社 著) 中山繁信

参考書・参考文献

インテリア設計の実技 プレゼンテーション技法と課題演習 出) 彰国社 著) 村野 聡

参考 URL

科目名	空間基礎Ⅱ			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	6206

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	正方形・長方形、立方体・直方体、からの建築・インテリア・造形物 01
第3回	正方形・長方形、立方体・直方体、からの建築・インテリア・造形物 02
第4回	1点透視図法
第5回	2点透視図法
第6回	3点透視図法
第7回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 01
第8回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 02
第9回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 03
第10回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 04
第11回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 05
第12回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 06
第13回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 07
第14回	スケッチ表現演習、他の課題との連携 08
第15回	総括

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	商空間デザイン I			教員名	小林 文		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	3110

授業目的と到達目標

商業空間として、展示・商業（物販・飲食）空間などインテリアスペースからのデザイン基礎を学ぶ。おしゃれな空間、魅力的な空間など、目的に応じた空間を理解する。

授業概要

デザインを知り、選ぶという事と、デザインを考え、プレゼンテーションするという事を、デザインワークとして効果的に進める為に、アナログ・デジタルを問わずカメラ等の映像メディアやコンピュータをいかに有効に使うか。多様なデザイン手法を学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	主に商業空間デザインや広告デザインにおけるデザイナーとしての経験をもとに、デザインとは何か、その組み立て方と作品制作の過程を重視して指導します。
出席	20%	
授業態度・コミュニケーション	30%	
プレゼンテーション	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

適宜プリントを配布する。

参考 URL

科目名	商空間デザイン I			教員名	小林 文		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	3110

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス (1年間の流れ、課題説明)
第2回	展示空間 (ウィンドウディスプレイ) -1 テーマを決定し、コンセプトを考える
第3回	展示空間 (ウィンドウディスプレイ) -2 イメージを写真で集める (イメージコラージュ)
第4回	展示空間 (ウィンドウディスプレイ) -3 アナログで図面を書く
第5回	展示空間 (ウィンドウディスプレイ) -4 資料をまとめ、プレゼンシートを完成させる
第6回	展示空間 (ウィンドウディスプレイ) -5 作品提出、合評
第7回	ワークショップ-プレゼンテーションのための PC
第8回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -1 テーマを決定し、コンセプトを考える
第9回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -2 イメージを写真で集める (イメージコラージュ)
第10回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -3 アナログで図面を書く
第11回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -4 アナログで図面を書く
第12回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -5 図面を元にイメージスケッチを描く
第13回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -6 図面を元にイメージスケッチを描く
第14回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -7 資料をまとめ、プレゼンシートを完成させる
第15回	商業空間 (ショールームまたは展示会ブースのデザイン) -8 作品提出、合評

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	住空間デザイン I			教員名	小林 文		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	3111

授業目的と到達目標

生活空間として、建築・街造り・環境などを空間造形物としての視点から考察するデザインの基礎として学ぶ。居心地のよい空間、使い勝手のよい空間など、目的に応じた空間を理解する。

授業概要

デザインを知り、選ぶという事と、デザインを考え、プレゼンテーションするという事を、デザインワークとして効果的に進める為に、アナログ・デジタルを問わずカメラなどの映像メディアやコンピュータをいかに有効に使うか。多様のデザイン手法を学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	主に商業空間デザインや広告デザインにおけるデザイナーとしての経験をもとに、デザインとは何か、その組み立て方と作品制作の過程を重視して指導します。
出席	20%	
授業態度・コミュニケーション	30%	
プレゼンシート	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

適宜プリントを配布。

参考 URL

科目名	住空間デザイン I			教員名	小林 文		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	3111

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス (課題説明)
第2回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-1 コンセプトワーク (色々なデザインテイスト)
第3回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-2 コンセプトワーク (イメージカラーージュ)
第4回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-3 図面制作
第5回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-4 図面制作
第6回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-5 図面制作
第7回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-6 図面制作
第8回	ワークショップ (インテリアグリーンについて)
第9回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-7 図面制作に基づいたイメージイラスト
第10回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-8 図面制作に基づいたイメージイラスト
第11回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-9 図面制作に基づいたイメージイラスト
第12回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-10 図面制作に基づいたイメージイラスト
第13回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-11 プレゼンシートのまとめ
第14回	マイルーム【自分の部屋】をデザインしてみよう-12 プレゼンシートのまとめ
第15回	作品提出・合評

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	デッサン			教員名	山口 彰広		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	2332

授業目的と到達目標

全体の基礎となる平面と立体との関係を知り、立体を把握する能力をつける。同時にスケール感を養い、表現力を身につける。

授業概要

インテリアデザイン、空間把握のための平面描写から立体造形へ 平面描写はドローイング表現を通して、デッサン、スケッチ力の向上をはかる。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	ディスプレイ業界にて「展示」「商品企画」を担当し、企画デザイン、営業（業務推進）40年の経験をもとに、「ものづくり」の基本を発想（企画）から見せ方（プレゼンテーション）までを広範囲に指導します。
提出物総合評価	40%	
作品への取り組み	20%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布

参考 URL

科目名	デッサン			教員名	山口 彰広		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	2332

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	基本形体の立体1
第3回	基本形体の立体2
第4回	基本形体の立体3
第5回	基本形体の立体4
第6回	文字の立体化
第7回	空間表現1
第8回	空間表現2
第9回	空間表現3
第10回	空間表現4
第11回	空間表現5
第12回	フリーハンドでの基本パース1
第13回	フリーハンドでの基本パース2
第14回	フリーハンドでの基本パース3
第15回	フリーハンドでの基本パース4

受講上の注意

設定された日時に提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	空間スケッチ			教員名	山口 彰広		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	2209

授業目的と到達目標

平面と立体との関係を知り、立体を把握する能力をつける。同時にスケール感を養い、表現力を身につける。

授業概要

インテリアデザイン、空間把握のための平面描写から立体造形へ 平面描写はドローイング表現を通して、デッサン、スケッチ力の更なる向上をはかる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ディスプレイ業界にて「展示」「商品企画」を担当し、企画デザイン、営業（業務推進）40年の経験をもとに、「ものづくり」の基本を発想（企画）から見せ方（プレゼンテーション）までを広範囲に指導します。
提出物総合評価	40%	
作品への取り組み	20%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	空間スケッチ			教員名	山口 彰広		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	2209

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	平面図からの立ち上げ1
第3回	平面図からの立ち上げ2
第4回	平面図からの立ち上げ3
第5回	フリーハンドでのパース1
第6回	フリーハンドでのパース2
第7回	フリーハンドでのパース3
第8回	フリーハンドでのパース4
第9回	フリーハンドでのパース5
第10回	空間パース1
第11回	空間パース2
第12回	空間パース3
第13回	空間パース4
第14回	空間パース5
第15回	総合評価

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	基礎造形			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	1306

授業目的と到達目標

立体物を製作、表現する基礎的な知識、技術を習得

授業概要

材料や道具の関係を知り、基礎となる立体物の製作から表現や構造を学ぶ

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
提出物	40%	
作品への取り組み	20%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	基礎造形			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	1306

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	平面から立体1
第3回	平面から立体2
第4回	平面から立体3
第5回	平面から立体4
第6回	平面から空間造形 ポップアップ BOX1
第7回	平面から空間造形 ポップアップ BOX2
第8回	粘土製作による造形物1
第9回	粘土製作による造形物2
第10回	線の構成1
第11回	線の構成2
第12回	線の構成3
第13回	模型基礎1
第14回	模型基礎2
第15回	模型基礎3

受講上の注意

設定された日時に提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	モデリング技法			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	1316

授業目的と到達目標

建築模型の基礎的な知識、技術を習得

授業概要

建築模型における材料や道具の関係を知り、基礎となる立体物の制作から構造を学ぶ

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
提出物	40%	
作品への取り組み	20%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	モデリング技法			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	1316

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	建築模型基礎 1
第3回	建築模型基礎 2
第4回	建築模型基礎 3
第5回	建築模型基礎 4
第6回	建築模型基礎 5
第7回	摸型 (照明を取り入れた作品)1
第8回	摸型 (照明を取り入れた作品)2
第9回	摸型 (照明を取り入れた作品)3
第10回	摸型 (照明を取り入れた作品)4
第11回	建築模型 1
第12回	建築模型 2
第13回	建築模型 3
第14回	建築模型 4
第15回	建築模型 5

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	C A D I			教員名	山口 彰広		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4202

授業目的と到達目標

空間デザイン（建築環境デザイン・インテリアデザイン・ディスプレイデザイン・家具）における多様の表現技法を知る。表現の基礎として、アナログ製図・デジタル製図の基礎を学ぶ。

授業概要

アナログ製図として、正確に形状を表現する基礎を学ぶ。2次元ソフトウェアとしてイラストレーターとフォトショップの基礎を習得する。3次元ソフトウェアとして、モルツ CAD（透視図作成ソフトウェア）を習得する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ディスプレイ業界にて「展示」「商品企画」を担当し、企画デザイン、営業（業務推進）40年の経験をもとに、「ものづくり」の基本を発想（企画）から見せ方（プレゼンテーション）までを広範囲に指導します。
出席	20%	
授業態度	20%	
理解度	30%	
プレゼンテーション	30%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	C A D I			教員名	山口 彰広		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4202

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス スケジュール調整。
第2回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題①
第3回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題①
第4回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題①
第5回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題②
第6回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題②
第7回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題②
第8回	モルツ CAD の基本操作 課題①
第9回	モルツ CAD の基本操作 課題①
第10回	モルツ CAD の基本操作 課題①
第11回	モルツ CAD の基本操作 課題②
第12回	モルツ CAD の基本操作 課題②
第13回	モルツ CAD の基本操作 課題②
第14回	モルツ CAD の基本操作 課題②
第15回	プレゼンテーション。

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

USB メモリーを持参の事

科目名	空間表現 I			教員名	山口 彰広		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4203

授業目的と到達目標

空間デザイン（建築環境デザイン・インテリアデザイン・ディスプレイデザイン・家具）における多様の表現技法を知る。表現の基礎として、アナログ製図・デジタル製図の応用を学ぶ。

授業概要

アナログ製図として、正確に形状を表現する基礎を学ぶ。2次元ソフトウェアとしてイラストレーターとフォトショップの基礎を習得する。3次元ソフトウェアとして、モルツ CAD（透視図作成ソフトウェア）を習得度を高める。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ディスプレイ業界にて「展示」「商品企画」を担当し、企画デザイン、営業（業務推進）40年の経験をもとに、「ものづくり」の基本を発想（企画）から見せ方（プレゼンテーション）までを広範囲に指導します。
出席	20%	
授業態度	20%	
理解度	30%	
プレゼンテーション	30%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	空間表現 I			教員名	山口 彰広		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	1	履修コード	4203

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第 1 回	ガイダンス スケジュール調整。
第 2 回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題③
第 3 回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題③
第 4 回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題④
第 5 回	イラストレーターとフォトショップの基本操作 課題④
第 6 回	モルツ CAD の基本操作 課題③
第 7 回	モルツ CAD の基本操作 課題③
第 8 回	モルツ CAD の基本操作 課題④
第 9 回	モルツ CAD の基本操作 課題④
第 10 回	ポートフォリオの作り方 説明
第 11 回	ポートフォリオの作り方 ①
第 12 回	ポートフォリオの作り方 ②
第 13 回	ポートフォリオの作り方 ③
第 14 回	ポートフォリオの作り方 ④
第 15 回	プレゼンテーション。

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

USB メモリーを持参の事

科目名	材料学			教員名	渡部 良子		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6112

授業目的と到達目標

色彩やインテリアエレメントについて学びながら自分で選ぶ力を養うことで、基礎的な提案力を習得することを目指す。

授業概要

インテリアを扱う上で基礎となる色彩・素材感を学ぶ。またインテリアエレメントの概要を学ぶことで、提案力を磨く。仕事を意識して授業に取り組むため、インテリアデザインの職業・周辺知識について学ぶ。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	リフォーム会社でリノベーションに関わる全てを担当。お客様の暮らしに寄り添った提案をしています。インテリアコーディネーターの他に福祉住環境コーディネーター、整理収納アドバイザーの資格を持つ。実務経験を生かして、インテリアの材料からコーディネート、建築知識に関わる様々な指導をしていきます。
出席	30%	
授業態度・コミュニケーション	20%	
課題提出	30%	
総合テスト	20%	
	%	

教科書

インテリアコーディネータ1次試験合格教本(上巻)出)ハウジングエージェンシー

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	材料学			教員名	渡部 良子		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6112

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	インテリアデザインの仕事
第2回	インテリアデザインの具体的な業務・イメージスタイル
第3回	インテリアスタイリング
第4回	課題①
第5回	インテリアエレメントの基礎知識① (素材・仕上げ)
第6回	インテリアエレメントの基礎知識② (さまざまな物の寸法)
第7回	家具
第8回	照明器具・インテリアアート・グリーン
第9回	ウィンドートリートメント
第10回	課題②
第11回	インテリアの色彩① (色の基礎知識・カラースキーム)
第12回	インテリアの色彩② (色、素材、形の関係)
第13回	課題③
第14回	総合テスト
第15回	総括

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の課題を提出する事。総合テストで定められた点数以上を取ること。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	建築知識			教員名	渡部 良子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6113

授業目的と到達目標

インテリア空間を形づくるための建築・設備の基礎知識を学ぶことで、基礎的な提案力を習得することを目指す。

授業概要

インテリアの仕上げ材・照明・設備の基礎知識を学び、安全で実用的な提案力を身につける。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	リフォーム会社でリノベーションに関わる全てを担当。お客様の暮らしに寄り添った提案をしています。インテリアコーディネーターの他に福祉住環境コーディネーター、整理収納アドバイザーの資格を持つ。実務経験を生かして、インテリアの材料からコーディネート、建築知識に関わる様々な指導をしていきます。
出席	30%	
授業態度・コミュニケーション	20%	
課題提出	30%	
総合テスト	20%	
	%	

教科書

インテリアコーディネータ1次試験合格教本(下巻)出)ハウジングエージェンシー

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	建築知識			教員名	渡部 良子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6113

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	国内外の建築・インテリア
第2回	仕上げ材の種類
第3回	床の仕上げ
第4回	壁・天井の仕上げ
第5回	建具
第6回	課題①
第7回	設備① (キッチン・バス・トイレ)
第8回	設備② (キッチン・バス・トイレ)
第9回	照明計画
第10回	課題②
第11回	図面・プレゼンボード①
第12回	図面・プレゼンボード②
第13回	課題③
第14回	総合テスト
第15回	総括

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の課題を提出する事。総合テストで定められた点数以上を取ること。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	キャリアプログラムⅡ			教員名	中森 恭平		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4407

授業目的と到達目標

就職活動に向けてのビジネスシーンにおけるデザインの必要性を考え、デザイン思考を身につける

授業概要

実在するヒト、モノ、コトに触れることでデザインの有り方・考え方を整理し発表できるようにする。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	ブランディングを中心にデザイナーとして20年以上のキャリアを持つ。2018年～株式会社wandervogel&co.代表
出席	80%	
レポート提出	20%	
	%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	キャリアプログラムⅡ			教員名	中森 恭平		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4407

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・スケジュール発表
第2回	ビジネスとデザインを考える【デザインとアートの違いを紐解く】
第3回	ビジネスとデザインを考える【デザインとアートの違いを紐解く】
第4回	ビジネスとデザインを考える【デザインとアートの違いを紐解く】
第5回	デザインを分析してみる【デザインの成り立ちやコンセプトを分析し発表する】
第6回	デザインを分析してみる【デザインの成り立ちやコンセプトを分析し発表する】
第7回	デザインを分析してみる【デザインの成り立ちやコンセプトを分析し発表する】
第8回	デザインを感じてみる【商業施設等に出向きデザインの在り方を体験する】
第9回	デザインを感じてみる【商業施設等に出向きデザインの在り方を体験する】
第10回	デザインを感じてみる【商業施設等に出向きデザインの在り方を体験する】
第11回	未来を考える【各自が目指す職業・職種を考える】
第12回	未来を考える【各自が目指す職業・職種を考える】
第13回	未来を考える【各自が目指す職業・職種を考える】
第14回	今後の目標と計画の確認・設定
第15回	総評【前期授業を受けてのレポート提出】

受講上の注意

ビジネス視点でのデザインの在り方を理解することが大切

特記事項

科目名	キャリアプログラムⅢ			教員名	中森 恭平		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2321

授業目的と到達目標

就職活動に向けての自己アピールの表現方法を身につける

授業概要

言葉や文章を用いての伝達力・表現力のスキルアップ

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ブランディングを中心にデザイナーとして20年以上のキャリアを持つ。デザインとビジネスとの関わり方や考え方を指導します。
出席	80%	
レポート提出	20%	
	%	
	%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	キャリアプログラムⅢ			教員名	中森 恭平		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2321

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・スケジュール発表 就職活動に向けて社会が求めるデザイナーの必要性を考える。
第2回	自己紹介 (言葉で伝える)
第3回	自己紹介 (文字で伝える)【文章力を身につける】
第4回	好きなヒト・モノ・コトを紹介【分析力・伝達力を身につける】
第5回	好きなヒト・モノ・コトを紹介【分析力・伝達力を身につける】
第6回	好きなヒト・モノ・コトを紹介【分析力・伝達力を身につける】
第7回	デザインをテーマにディベート【対話力・傾聴力を身につける】
第8回	デザインをテーマにディベート【対話力・傾聴力を身につける】
第9回	デザインをテーマにディベート【対話力・傾聴力を身につける】
第10回	社会を知る【企業やデザイン会社を探す・調べる・纏める】
第11回	社会を知る【企業やデザイン会社を探す・調べる・纏める】
第12回	社会を知る【企業やデザイン会社を探す・調べる・纏める】
第13回	模擬面接【履歴書・ポートフォリオを用いて面接】
第14回	模擬面接【履歴書・ポートフォリオを用いて面接】
第15回	総評【後期授業を受けてのレポート提出】

受講上の注意

自身を理解した上で就職活動を想定した準備を行う

特記事項

科目名	CAD II			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	3113

授業目的と到達目標

コンピュータを使用した表現手法のうち、インテリア及び建築の設計図の作成法を取得する。実際にコンピュータを使用することで、ハードの運用方法、ソフトの操作方法、各種図面の作成手法の習熟を目指す。

授業概要

コンピュータを使用した実作業を中心とする。題材を一つ提示し、その題材を表現するために必要な各種図面を、実務におけるプロセスと同様の手順で作成する。全体の進行度に応じて適宜小テストを行い、前期末に実技試験を行う。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	コンピュータによる設計図書の作成業務、コンピュータによる完成予想図作成業務の実務経験を生かして、コンピュータの運用方法や図面作成アプリケーションの使用方法を教える。
実技試験、小テストの成績	90%	
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	10%	
	%	
	%	

教科書

プリント配布にて代用。

参考書・参考文献

特に指定しない。

参考 URL

科目名	CAD II			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	3113

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	アプリケーションソフトは VectorWorks を使用する。主旨、概要及スケジュール説明
第2回	製図基礎 1
第3回	製図基礎 2
第4回	製図応用 1
第5回	製図応用 2
第6回	製図応用 3 + 小テスト
第7回	製図応用 4
第8回	製図応用 5
第9回	製図応用 6
第10回	製図応用 7 + 小テスト
第11回	3次元作図 1
第12回	3次元作図 2
第13回	3次元作図 3
第14回	3次元作図 4
第15回	実技試験、総合評価

受講上の注意

パーソナルコンピュータを使用します。起動、終了、マウスの操作、データの保存等コンピュータの基本操作が出来ること。

特記事項

※年度ごとの詳細は授業開始時に配布する。

科目名	空間表現Ⅱ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	3112

授業目的と到達目標

空間デザインにおける空間表現の各種ツール（スケッチ、図面、透視図）を、計画の説明的ツールから、より芸術性を伝達出来る表現を付加したものに向上させる技法の基礎を習得する。

授業概要

提示されたテーマに対し、各自のデザインを考案、アナログなスケッチや、CAD を活用した各種図面、画像を作成し、それぞれを統合して、考案したデザインを表現するツールを作成する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
提出作品の内容	60%	
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	40%	
	%	
	%	

教科書

プリント配布にて代用。

参考書・参考文献

特に指定しない。

参考 URL

科目名	空間表現II			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	3112

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	課題1 基本構想1 (アイデア抽出)
第3回	課題1 基本構想2 (ラフスケッチ)
第4回	課題1 作図、作画1 (2次元)
第5回	課題1 作図、作画2 (3次元)
第6回	課題1 画面レイアウト1、提出、評価
第7回	課題2 基本構想1 (アイデア抽出)
第8回	課題2 基本構想2 (ラフスケッチ)
第9回	課題2 基本構想3 (ラフスケッチ)
第10回	課題2 作図、作画1 (2次元)
第11回	課題2 作図、作画2 (2次元)
第12回	課題2 作図、作画3 (3次元)
第13回	課題2 作図、作画4 (3次元)
第14回	課題2 画面レイアウト1
第15回	課題2 画面レイアウト2、提出、評価

受講上の注意

パーソナルコンピュータを使用します。起動、終了、マウスの操作、データの保存等コンピュータの基本操作が出来ること。

特記事項

※年度ごとの詳細は授業開始時に配布する。

科目名	商空間デザインII			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	1112

授業目的と到達目標

商業空間の設計演習としてショップデザインの実際を学ぶ。店舗設計は感覚的なデザインや、魅力的で個性
的な作品も多く、その現実を学外などで検分し、有効に学ぶ。

授業概要

飲食店舗・物販店舗など多様な空間デザインを学ぶ。そして就職対策としてそのパーツのひとつでもある、イ
ンテリアデザインコースとしてのポートフォリオを作成する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザイン や製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習 得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての 造形物の成り立ちや表現力を指導する。
模型	30%	
製作資料	30%	
プレゼンシート	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	商空間デザインII			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	1112

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第3回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第4回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第5回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第6回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第7回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第8回	模型製作
第9回	模型製作
第10回	模型製作
第11回	模型製作
第12回	模型製作
第13回	模型製作・模型写真撮影
第14回	模型製作・模型写真撮影
第15回	合評・提出

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	住空間デザインII			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	1113

授業目的と到達目標

住居空間の設計演習として、我々が生活していく基盤となる住居は、居心地の良さや使い勝手の良さを要求される。機能的な部分と感覚的な部分、その現実を学ぶ。

授業概要

住空間の基本として、一人の空間・集まる空間・休息する空間・作業する空間などそれぞれの要素を学び、テーマを設定し、演習する。そして就職対策としてそのパーツのひとつでもある、ポートフォリオにその成果をまとめる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
プレゼンシート	40%	
模型	30%	
製作資料	30%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	住空間デザインII			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	1113

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第3回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第4回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第5回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第6回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第7回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第8回	模型製作
第9回	模型製作
第10回	模型製作
第11回	模型製作
第12回	模型製作
第13回	模型製作・模型写真撮影
第14回	模型製作・模型写真撮影
第15回	合評・提出

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	キャリア演習 I			教員名	中森 恭平		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2403

授業目的と到達目標

インテリアデザインコースに学ぶ学生にとって目標とする将来の仕事が、建築環境デザイン・インテリアデザイン・ディスプレイデザイン・家具、などいかなる方向に向かおうと社会に認められる資格は必要なものであり専門性に合わせた資格の取得を目指すとともに、就職活動に必須のポートフォリオ作成を到達目標とする。

授業概要

1年次に学んだインテリアデザインコースの幅広い職種の中で、個々の学生が現時点でどのような将来の自己形成を想定しているかを個別調査し数種の資格試験の中で、難易度のあまり高くない資格からチャレンジしていく。(受講者全員が望ましいが受験費用も必要であり希望者のみ。)同時に1年次の各演習実習課題を見直し手直ししてポートフォリオの1年次分を作成する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ブランディングを中心にデザイナーとして20年以上のキャリアを持つ。2018年～株式会社wandervogel&co.代表
出席	20%	
授業態度・コミュニケーション	30%	
プレゼンテーション	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	キャリア演習 I			教員名	中森 恭平		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2403

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・スケジュール発表 専門性の高い各種資格と一般の社会認知度の高い資格の種類などの学び。
第2回	個々の学生の、希望資格の方向性分析や、進学および就職のカウンセリング。
第3回	個々の資格スケジュールの確認とテキストの設定、進路および就職のターゲットの見極め。
第4回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第5回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第6回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第7回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第8回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第9回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第10回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第11回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第12回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション01 (年度のクラス人数に合わせて)
第13回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション02 (年度のクラス人数に合わせて)
第14回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション03 (年度のクラス人数に合わせて)
第15回	総評

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の点数を取得する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	キャリア演習Ⅱ			教員名	中森 恭平		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2404

授業目的と到達目標

インテリアデザインコースに学ぶ学生にとって目標とする将来の仕事が、建築環境デザイン・インテリアデザイン・ディスプレイデザイン・家具、などいかなる方向に向かおうと社会に認められる資格は必要なものであり専門性の高い資格の取得を目指すとともに、就職活動に必須のポートフォリオ作成を到達目標とする。

授業概要

各自の目指す資格の取得を確実なものにするとともに、1年次に学んだ空間デザインの各演習実習課題と2年次前期の各演習実習課題をポートフォリオにまとめる。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	ブランディングを中心にデザイナーとして20年以上のキャリアを持つ。2018年～株式会社wandervogel&co.代表
出席	20%	
授業態度・コミュニケーション	30%	
プレゼンテーション	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	キャリア演習Ⅱ			教員名	中森 恭平		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	2404

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・スケジュール発表 専門性の高い各種資格と一般の社会認知度の高い資格の種類などの学び。
第2回	個々の学生の、希望資格の方向性分析や、進学および就職のカウンセリング。
第3回	個々の資格スケジュールの確認とテキストの設定、進路および就職のターゲットの見極め。
第4回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第5回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第6回	資格試験チャレンジは過去問題からの徹底した反復学習と、各生徒の課題内容に合わせたポートフォリオの作成。
第7回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第8回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第9回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第10回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第11回	過去問題からの徹底した反復学習の進捗チェック
第12回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション04 (年度のクラス人数に合わせて)
第13回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション05 (年度のクラス人数に合わせて)
第14回	作製ポートフォリオのプレゼンテーション06 (年度のクラス人数に合わせて)
第15回	総評

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の点数を取得する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	家具デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4125

授業目的と到達目標

空間のイメージ作りの重要な要素である家具。その家具のまた重要な要素である構造を理解し、作品を制作する。機会があれば学外のコンペに参加し、他者の評価を受け、また他の多くの作品に触れることで高次元の目標を持てるよう学んでいく

授業概要

1) 木材の本質を理解する。2) 空間との関係、家具の要素、素材の関係を学ぶ。3) 具体的なテーマ設定に基づき作品を制作する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
提出作品	60%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	家具デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4125

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第3回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第4回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第5回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第6回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第7回	資料集製作 (コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第8回	模型製作
第9回	模型製作
第10回	模型製作
第11回	模型製作
第12回	模型製作
第13回	模型製作・模型写真撮影
第14回	模型製作・模型写真撮影
第15回	合評 提出

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

○具体的なテーマを設定する。○テーマに沿った家具をイメージする。○イメージから具体性を持たせる為の要素を検討する。○家具の種類、大きさ、等また様々な素材などの理解を深め具体的に検討する。○模型制作などを繰り返し作品の制作をする。○自分の作品の自己評価、及び他の人の作品の感想を具体的にレポートする。

科目名	照明デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4126

授業目的と到達目標

空間のイメージ作りの重要な要素である照明。その照明のまた重要な要素である光の基本を理解し、照明器具を制作する。学外のコンペに参加し、他者の評価を受ける、また他の多くの作品に触れることで高次元の目標を持てるようになる

授業概要

1) 光の本質を理解する。2) 光と光源、照明器具の関係、光と素材の関係を学ぶ。3) 具体的なテーマ設定に基づき照明器具を制作する。4) 今後のデザイン活動のレベルアップのために、より客観的な評価を求め、外部の展示会に出展する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
作品提出	60%	
出席率	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	照明デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	4126

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス 透過素材を用いた照明製作 1(コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第2回	透過素材を用いた照明製作 2(合評)
第3回	不透過素材を用いた照明製作 1(コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第4回	透過素材を用いた照明製作 2(合評)
第5回	LED 素材を用いた照明製作 1(コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え、プレゼンシートを製作する)
第6回	LED 素材を用いた照明製作 2(合評)
第7回	あかり作品製作 1(コンセプト、イメージ写真、図面等 様々な要素を資料集としてまとめ作品の構成を考え製作する)
第8回	あかり作品製作 2
第9回	あかり作品製作 3
第10回	あかり作品製作 4
第11回	あかり作品製作 5
第12回	空間照明計画 1
第13回	空間照明計画 2
第14回	空間照明計画 3
第15回	空間照明計画 4

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数の出席数がある事。担当講師とのデザイン面でのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

○簡単な実験を行い、光の本質を理解する。○具体的なテーマを設定する。○テーマに沿った照明器具をイメージする。○イメージから具体性を持たせる為の要素を検討する。○光源の種類、大きさ、明るさ等また光源を覆う素材、反射する素材などの理解を深め具体的に検討する。○実験などを繰り返し作品の制作をする。○公募展に参加、出展する。○自分の作品の自己評価、及び他の人の作品の感想を具体的にレポートする。○上記の授業で得た知識技術を卒業制作に利用展開する。

科目名	インテリアデザイン I			教員名	向井 新二郎		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6207

授業目的と到達目標

生活に直接関係するデザインである空間のデザインを学ぶとともに、テーマ内容に対しての理解力・創造力・表現力のある作品を、自己スケジュール管理により制作する。

授業概要

課題を通じて、生活環境の中に入り込んでいる、デザインに気づき、発見し、知ることによってデザインの必要性や存在意義を理解し学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は、インテリアデザイン会社、建築設計事務所、ランドスケープデザイン会社での設計から現場監理の経験を経て、現在は自ら建築設計事務所を運営しつつ、住宅・店舗・医療施設に関わるデザインから設計監理業務を中心に活動しています。その実務経験を元に指導しています。
出席	20%	
プロセスチェック	30%	
プレゼンテーション	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	インテリアデザイン I			教員名	向井 新二郎		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6207

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・第一課題発表 (あいまいな空間について)
第2回	参考事例、情報収集、まとめ
第3回	検討、イラスト、スケッチ、空間表現で提案する。
第4回	第二課題発表 (カフェのデザイン)
第5回	コンセプト、イメージ
第6回	コンセプト、イメージ
第7回	テーマ、イメージの明確化
第8回	マスタープランの作成
第9回	各部デザインの検討
第10回	各部デザインの検討
第11回	模型製作
第12回	模型製作
第13回	プレゼンテーション資料の作成、模型製作
第14回	プレゼンテーション方法の検討、まとめ作業
第15回	完成、発表、総評

受講上の注意

設定されたスケジュールに沿って、課題を進めていく事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションをしっかりとっていく事。

特記事項

科目名	インテリアデザインII			教員名	向井 新二郎		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6208

授業目的と到達目標

生活に直接関係するデザインである空間のデザインを学ぶとともに、テーマ内容に対しての理解力・創造力・表現力のある作品を、自己スケジュール管理により制作する。

授業概要

課題を通じて、生活環境の中に入り込んでいるデザインに気づき、発見し、知ることによってデザインの必要性や存在意義を理解し学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は、インテリアデザイン会社、建築設計事務所、ランドスケープデザイン会社での設計から現場監理の経験を経て、現在は自ら建築設計事務所を運営しつつ、住宅・店舗・医療施設等に関わるデザインから設計監理業務を中心に活動しています。その実務経験を元に指導しています。
出席	20%	
プロセスチェック	30%	
プレゼンテーション	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

科目名	インテリアデザインII			教員名	向井 新二郎		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	6208

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・第一課題発表 (問題解決のショートレッスン)
第2回	状況設定、参考事例
第3回	イラスト、スケッチ、まとめ。
第4回	第二課題発表 (住空間の提案)
第5回	情報収集、参考事例収集
第6回	コンセプト、イメージ
第7回	プランニング、エスキース
第8回	プランニング、エスキース
第9回	プランニング、エスキース
第10回	図面作成
第11回	模型製作
第12回	模型製作
第13回	模型製作
第14回	プレゼンテーション方法の検討、製作
第15回	完成・発表・総評

受講上の注意

設定されたスケジュールに沿って課題を進めていく事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションをしっかりと取る事。

特記事項

科目名	空間設計論 I			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3204

授業目的と到達目標

多種多様な空間の実際を研究、分析しすることで、各自のデザイン手法におけるポキャブラリーを増やし、より良い空間設計に反映させることを目指す。

授業概要

既存のディスプレイデザイン・ショップデザイン・インテリアデザイン・建築環境デザインを「構成要素」の見地で分別、整理し、それぞれの物件を研究、レポートにまとめる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
平常点 (日常的な授業における取組状況の評価)	40%	
レポート	60%	
	%	
	%	

教科書

特になし

参考書・参考文献

商店建築、新建築等の専門誌、インターネットの活用

参考 URL

科目名	空間設計論 I			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3204

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	研究テーマ1 説明、解説
第3回	研究テーマ1 資料収集、検証整理
第4回	研究テーマ1 レポート作成、提出
第5回	研究テーマ2 説明、解説
第6回	研究テーマ2 資料収集、検証整理
第7回	研究テーマ2 レポート作成、提出
第8回	研究テーマ3 説明、解説
第9回	研究テーマ3 資料収集、検証整理
第10回	研究テーマ3 レポート作成、提出
第11回	研究テーマ4 説明、解説
第12回	研究テーマ4 資料収集
第13回	研究テーマ4 検証整理
第14回	研究テーマ4 レポート作成、提出
第15回	総合総評

受講上の注意

作品を作り上げる過程における教員とのコミュニケーションも重要です。平常の授業への取り組みが大事です。

特記事項

科目名	空間設計論Ⅱ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3205

授業目的と到達目標

より良い空間設計をおこなうための方法論の習得を目指す。自ら考案した空間設計に対し、設計の分析、再考、調整を行うことを設計を洗練するための方法とし、その手法を学習する。

授業概要

教員に、一つの題材について、コンセプトや意匠を、図面やスケッチ、模型等のプレゼンテーションツール、および口頭による説明で伝え、チェック、助言を受ける形式で行う。題材として卒業制作を使用する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	70%	
提出作品の内容	30%	
	%	
	%	
	%	

教科書

特に指定しない

参考書・参考文献

生徒の作品内容によって個別に指示。

参考 URL

科目名	空間設計論Ⅱ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3205

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	題材は各自の卒業制作を使用する。 主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第3回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第4回	中間チェック、評価
第5回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第6回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第7回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第8回	空間の考察、基礎 (解説、検証、確認、助言)
第9回	中間チェック、プレゼンテーション実演、評価
第10回	空間の考察、応用 (検証、確認、助言、指示)
第11回	空間の考察、応用 (検証、確認、助言、指示)
第12回	空間の考察、応用 (検証、確認、助言、指示)
第13回	空間の考察、応用 (検証、確認、助言、指示)
第14回	プレゼンテーション実演、合評
第15回	最終提出、プレゼンテーション実演、評価

受講上の注意

作品を作り上げる過程における教員とのコミュニケーションが非常に重要です。平常の授業への取り組みが大事です。

特記事項

※年度ごとの詳細は授業開始時に配布する。

科目名	CADⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3313

授業目的と到達目標

コンピュータを使用したより高度な表現手法を取得する。3次元画像作成ソフトの使用方法の習得を基本の目標とし、作成された画像を盛り込んだプレゼンテーションツールの作り方、そのための周辺ソフトの活用方法も併せて習得する。

授業概要

コンピュータを使用した実作業を中心とする。3次元画像作成ソフトを実際に使用して画像を作成し、その他各種ソフトを適宜使い分けてプレゼンテーション用ツールを作成する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	コンピュータによる設計図書の作成業務、コンピュータによる完成予想図作成業務の実務経験を生かして、コンピュータの運用方法や図面作成アプリケーションの使用方法を教える。
提出作品の内容	80%	
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	20%	
	%	
	%	

教科書

プリント配布にて代用。

参考書・参考文献

特に指定しない。

参考 URL

科目名	CADⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3313

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	アプリケーションソフトは、VectorWorks、Photoshop、Illustrator、Strata3D、を使用する。主旨、概要及スケジュール説明
第2回	3次元画像作成基礎1 (3Dアプリケーション操作法習得)
第3回	3次元画像作成基礎2 (モデリング、データ変換、調整)
第4回	3次元画像作成基礎3 (テクスチャデータ作成)
第5回	3次元画像作成基礎4 (テクスチャマッピング)
第6回	3次元画像作成基礎5 (ライティング)
第7回	3次元画像作成基礎6 (レンダリング1)
第8回	3次元画像作成基礎7 (レンダリング2)
第9回	3次元画像作成応用1 (モデリング、データ変換、調整)
第10回	3次元画像作成応用2 (テクスチャデータ作成、テクスチャマッピング)
第11回	3次元画像作成応用3 (ライティング、レンダリング)
第12回	データ変換、アプリケーション間受け渡し
第13回	画像加工
第14回	画像統合、レジュメ作成
第15回	総合評価

受講上の注意

パーソナルコンピュータを使用します。起動、終了、マウスの操作、データの保存等コンピュータの基本操作が出来ること。

特記事項

※年度ごとの詳細は授業開始時に配布する。

科目名	空間表現Ⅲ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3314

授業目的と到達目標

自ら考案したインテリア、建築等のデザインを、的確且つ効果的に伝える手法を学ぶ。CADの高度な活用に、アナログ表現も含め、社会でも通用する表現手法の取得を目標とする。

授業概要

一つの題材について、コンセプトの整理及び文章化、スケッチ、図面、模型等のプレゼンツールの作成まで、一連のデザイン作業を一貫して実習する。能動的なデザイン作業に慣れるため、学生各自により作業計画を作成し実行する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
提出作品の内容	40%	
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	60%	
	%	
	%	
	%	

教科書

特に指定しない

参考書・参考文献

生徒の作品内容によって個別に指示します。

参考 URL

科目名	空間表現Ⅲ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	3314

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	題材は各自の卒業制作を使用する。 主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	基本構想 (アイデア抽出、作業工程作成)
第3回	基本構想 (ラフスケッチ、コンセプト作成)
第4回	作図、作画
第5回	中間チェック、評価
第6回	作図、作画
第7回	作図、作画
第8回	作図、作画
第9回	作図、作画
第10回	中間チェック、プレゼンテーション実演、評価
第11回	作図、作画、模型作成
第12回	作図、作画、模型作成
第13回	作図、作画、模型作成
第14回	プレゼンテーション実演、合評
第15回	最終提出、評価

受講上の注意

作品を作り上げる過程における教員とのコミュニケーションが作品の良し悪しに影響する授業です。作品の完成度だけではなく平常の授業への取り組みが大事です。

特記事項

※年度ごとの詳細は授業開始時に配布する。

科目名	商空間デザインⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	1401

授業目的と到達目標

実務における商空間設計の表現に必要な、設計図書作成の手法を習得する。

授業概要

面積、天井高、開口部の寸法、数、等の条件を与え、その範囲の中で、各自が想定した業態の設計シュミレーションを行う。仕様書、基本図、詳細図、透視図、マテリアルボードの作成を通じてデザイン作業の実際を理解する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
提出作品の内容	80%	
平常点（日常的な授業における取組状況の評価）	20%	
	%	
	%	
	%	

教科書

特に無し

参考書・参考文献

生徒の作品内容によって個別に指示。

参考 URL

科目名	商空間デザインⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	1401

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	プランニング 基本構想(意匠、仕上げ) ラフスケッチ作成
第3回	プランニング 基本構想(機能) ラフスケッチ作成
第4回	作図 平面図作成 CAD
第5回	作図 平面図作成 CAD
第6回	作図 展開図作成 CAD
第7回	作図 展開図作成 CAD
第8回	作図 床伏せ図作成 CAD
第9回	作図 天井伏せ図作成 CAD
第10回	作図 什器図作成 CAD
第11回	作図 詳細図作成 CAD
第12回	作図 仕様書、マテリアル表作成
第13回	作図 各図変更修正 CAD
第14回	
第15回	提出、総評

受講上の注意

パーソナルコンピュータを使用します。起動、終了、マウスの操作、データの保存等コンピュータの基本操作が出来ること。

特記事項

科目名	住空間デザインⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	1402

授業目的と到達目標

実務における住空間設計の表現に必要な、設計図書作成の手法を習得する。

授業概要

面積、天井高さ、開口部の寸法、数、等の条件を与え、その範囲の中で、各自想定の住民の生活形態に合わせた設計シュミレーションを行う。仕様書、基本図、詳細図、透視図、マテリアルボードの作成を通じてデザイン作業の実際を理解する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	インテリアデザイナーとしての実務経験を生かして、室内空間のデザイン手法やデザインの表現方法を教える。
提出作品の内容	80%	
平常点 (日常的な授業における取組状況の評価)	20%	
	%	
	%	
	%	

教科書

特に無し

参考書・参考文献

生徒の作品内容によって個別に指示。

参考 URL

科目名	住空間デザインⅢ			教員名	永松 照基		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	1402

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	主旨、概要及スケジュール説明。
第2回	プランニング 基本構想(意匠、仕上げ) ラフスケッチ作成
第3回	プランニング 基本構想(機能) ラフスケッチ作成
第4回	作図 平面図作成 CAD
第5回	作図 平面図作成 CAD
第6回	作図 展開図作成 CAD
第7回	作図 床伏せ図天井伏せ図作成 CAD
第8回	作図 詳細図作成 CAD
第9回	作図 透視図作成 CAD
第10回	作図 透視図作成 CAD
第11回	作図 透視図作成 CAD
第12回	作図 仕様書、マテリアル表作成
第13回	作図 各図変更修正 CAD
第14回	
第15回	提出、総評

受講上の注意

パーソナルコンピュータを使用します。起動、終了、マウスの操作、データの保存等コンピュータの基本操作が出来ること。

特記事項

科目名	建築デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	4112

授業目的と到達目標

建築に関わる様々な事を学び、機能性から環境まで幅広い視点でデザインについて考えられるようなスキルを身に付ける。

授業概要

デザインが社会との関わりの中で成り立っている仕事であることの理解と、様々な条件の中で仕事のクオリティを上げていくことの大切さを、課題を通して学習していく。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
出席率	30%	
提出作品	70%	
	%	
	%	

教科書

参考資料をコピーして配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	建築デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	4112

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・第一課題「中間領域のショートレッスン」課題説明、ポートフォリオ修正・製作
第2回	第一課題 イメージ、参考資料収集、まとめ、ポートフォリオ修正・製作
第3回	第一課題 イラスト、スケッチ、まとめ
第4回	第二課題 「インダストリアルデザイン計画」課題説明 (建築、環境に配慮した内容)
第5回	第二課題 情報収集、イメージ
第6回	第二課題 コンセプト、イメージのまとめ
第7回	第二課題 機能、スケール、エスキーススタート
第8回	第二課題 エスキース、マスタープラン
第9回	第二課題 スタディモデル
第10回	第二課題 スタディモデル
第11回	第二課題 図面作成
第12回	第二課題 模型作成
第13回	第二課題 模型作成
第14回	第二課題 プレゼンテーション方法の検討
第15回	第二課題 完成、発表、講評

受講上の注意

自分から取り組む姿勢が大切。

特記事項

科目名	生活環境デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	4113

授業目的と到達目標

生活環境に関わる様々な事を学び、機能性から環境まで幅広い視点でデザインについて考え、社会で通用するようなスキルを身に付けることを目標とします。

授業概要

課題を通して、生活環境の中にそれぞれ多くのデザインの視点が入っていることを知り、デザインの重要性、それを学ぶことの大切さ、実現していく事の難しさと楽しさを学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	建築模型製作者としての13年実務経験、デザインや製作で得た経験値を生かし基礎となる技術習得、建築図面の読み取り能力やデザインとしての造形物の成り立ちや表現力を指導する。
出席率	30%	
提出作品	70%	
	%	
	%	

教科書

参考資料をコピーして配布

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	生活環境デザイン			教員名	梶山 武志		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	4113

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	ガイダンス・第一課題「動線の考察」課題説明 (住居、店舗など)
第2回	テーマ設定、機能の設定、情報収集 (参考資料、イメージ画像)
第3回	情報分析とイメージ創り、スケッチ、エスキース、プラン検討
第4回	スケッチ、エスキース、プラン検討
第5回	プレゼンテーションのまとめ、発表、総評
第6回	第二課題「インテリアの自主性課題」
第7回	問題の明確化、具体的な解決方法提案の検討
第8回	エスキース 1
第9回	エスキース 2
第10回	図面作成、模型製作 1
第11回	図面作成、模型製作 2
第12回	制作、プレゼンテーション方法の検討
第13回	見せ方と完成品のクオリティーを向上させる 1
第14回	見せ方と完成品のクオリティーを向上させる 2
第15回	完成、合評、講評。

受講上の注意

社会に出ていく事を意識した上で課題に取り組む。

特記事項

科目名	インテリアデザインⅢ			教員名	高田 知明		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	6114

授業目的と到達目標

家具および空間デザインを、定められた制約条件の中で、思考⇒具現化⇒表現⇒プレゼンテーションへ解りやすく段階的に進める事で、企業で通用するプレゼン方法習得を目指す。個別指導に近い形で、リタイアなく確実に作品を完成させる。作品の完成度&クオリティを重視し、就職活動の自己アピール時に必要となるポートフォリオのクオリティアップを目指す。

授業概要

あらかじめ設定された制約条件の中で思考させることにより、プランをまとめやすく、レベルの高い作品の完成を目指す。制作作業を重ねる上で思考のステップアップを設定する事により、「コンセプト」を設定する事の重要性を段階的に実感させ、その内容を元にパソコンアプリケーション等を用いて効果的な表現方法を指導する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	担当教員は日本メーカーに36年務め、現在も現役デザイナーとして活動。同企業の製品デザインをトータルで監修する主幹としての役割に加え、インハウスデザイナーの育成にも努める。企業内デザイナーとしての立ち位置により、必要とされるスキルを中心に指導します。日本グッドデザイン賞受賞多数。
・表現力、作品の完成度評価	40%	
・作品考察段階での当人の考え方、アイデアの評価	40%	
・理解度、授業態度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	インテリアデザインⅢ			教員名	高田 知明		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	6114

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	「Alphabet Furniture」イラストレーターのデータを3D化する手順をマスターする。自分の名前(ローマ字)を使っていろいろ試してみよう
第2回	「Alphabet Furniture」家具を考える。資料に基づいて寸法を決める。とにかく自由な発想で…
第3回	「Alphabet Furniture」決めたデザインをイラストレーターで描画その時の寸法基準は画面上のグリッドで、自由形状なども利用
第4回	「Alphabet Furniture」いろんな手法の3D化をマスターしよう。引っぱったり、回転させたり、伸ばしたり、削ったり…
第5回	「Alphabet Furniture」質感をリアルに見えるよう着けてみよう！いろんなテクスチャをつけて試してみよう。どうすればリアルに見えるのか？
第6回	「Alphabet Furniture」いよいよ最終仕上げ。いかに良い商品に見せる事ができるか？グラフィック的センスも重要になってくる。
第7回	「Alphabet Furniture」更にブラッシュアップするための時間また、出来てない人もこの時間でリカバー
第8回	「Alphabet Furniture」予備日
第9回	「Beauty Salon Design」みんなが行ってるビューティサロンは？思い出しながらレイアウトを考えてみる。
第10回	「Beauty Salon Design」空間を造ってみる。わくわくするようなビューティサロンってどんな感じ？
第11回	「Beauty Salon Design」空間を造ってみる。いつも通うビューティサロンがこんな感じだったらいいのに
第12回	「Beauty Salon Design」家具をレイアウトしてみる。美容院の家具データ(提供)をレイアウトしてみる。
第13回	「Beauty Salon Design」かなりビューティサロンっぽくなってきた感じ空間完成⇒ブラッシュアップ時間
第14回	「Beauty Salon Design」いよいよ最終仕上げ。いかに良い商品に見せる事ができるか？同じくグラフィック的センスも重要になってくる。
第15回	「Beauty Salon Design」予備日

受講上の注意

この授業は高額な2D&3Dアプリケーションを利用するため、持ち帰り作業が不可能。授業時間のみが作業時間となるため確実に毎週3時限全時間参加が条件。

特記事項

科目名	インテリアデザインⅣ			教員名	高田 知明		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	6115

授業目的と到達目標

卒業制作完成を目的とする。その作品表現を通して、より人に感銘を受ける内容を検討。作品を余すところなく効果的に伝えるスキルを身につける。

授業概要

専攻内の他の授業（先生方）との連携により、作品内容コンセプトを設定。そのコンセプトを元に、講師の本業とするプロダクトデザインの要素にかかわる部分を中心に指導。パソコンソフトを用いた表現を核として、効果的な表現技法を身に着けながら作品を完成させる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員は日本メーカーに36年務め、現在も現役デザイナーとして活動。同企業の製品デザインをトータルで監修する主幹としての役割に加え、インハウスデザイナーの育成にも努める。企業内デザイナーとしての立ち位置により、必要とされるスキルを中心に指導します。日本グッドデザイン賞受賞多数。
・作品考察段階での当人の考え方、アイデアの評価	40%	
・表現方法、プレゼンテーション力	40%	
・理解度、授業態度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

科目名	インテリアデザインⅣ			教員名	高田 知明		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	6115

授業計画 (各回予定)

授業内容	
第1回	「卒業制作」 テーマ設定のためのヒアリング→アドバイス
第2回	「卒業制作」 内容設定のための表現計画
第3回	「卒業制作」 内容設定のための表現計画
第4回	「卒業制作」 内容設定のための表現計画→専攻全体中間レビュー…
第5回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第6回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第7回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第8回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導) →専攻全体中間レビュー
第9回	「卒業制作」 修正部分指摘→是正作業
第10回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第11回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第12回	「卒業制作」 具体的制作 (主にPCアプリデータ入力&表現指導)
第13回	「卒業制作」 卒業制作 最終提出日 最終調整
第14回	「卒業制作」 卒業制作展に向けての調整作業
第15回	「卒業制作」 卒業制作展に向けての調整作業

受講上の注意

授業時間内でのみ使用できる高額な機材およびアプリケーションを活用するため、しっかりと毎週3時限分の時間を受講することが必要。

特記事項

科目名	卒業制作			教員名	向井 新二郎		
期区分	通年	曜日	水曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	インテリアデザイン			年次	3	履修コード	2106

授業目的と到達目標

卒業制作を3年間の集大成として位置づけ、企画、計画、具体的設計から制作まで、総合的なデザインプレゼンテーションを学ぶ。

授業概要

各教員のアドバイスを熟考しての、的確な自己スケジュール管理とその理解度により、すべての制作プロセスに、デザインの正確さと確実さを求め美的感覚とそれを表現する技術をマスターする。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	担当教員は、インテリアデザイン会社、建築設計事務所、ランドスケープデザイン会社での設計から現場監理の経験を経て、現在は自ら建築設計事務所を運営しつつ、住宅・店舗・医療施設に関わるデザインから設計監理業務を中心に活動しています。その実務経験を元に指導しています。
出席	10%	
コミュニケーション	10%	
プロセスチェック	20%	
プレゼンテーション	60%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

実習室常設の、環境・建築・インテリア専門雑誌

参考 URL

授業計画 (各回予定)	
授業内容	
第1回	・前期ガイダンス、年間スケジュール発表、テーマ設定説明、昨年度の卒業制作について
第2回	・テーマの検討、他の事例調査1
第3回	・テーマの検討、他の事例調査2
第4回	・イメージ画像、テーマ設定、場所の設定1
第5回	・イメージ画像、テーマ設定、場所の設定2
第6回	・ラフ案作成1 イメージの飛躍1、参考資料収集
第7回	・ラフ案作成2 イメージの飛躍2、参考資料収集
第8回	・ラフ案作成3 イメージの飛躍3、参考資料収集
第9回	・アイデアスケッチ、コンセプトの検討1
第10回	・アイデアスケッチ、コンセプトの検討2
第11回	・スタディモデルの製作、検討1
第12回	・スタディモデルの製作、検討2
第13回	・スタディモデルの製作、検討3
第14回	・コンセプト、プレゼン資料のまとめ
第15回	・中間プレゼンテーション、評価、再検討
第16回	・卒業制作のコンセプト、デザイン、プレゼン方法の見直し1
第17回	・卒業制作のコンセプト、デザイン、プレゼン方法の見直し2
第18回	・最終プレゼンパネルを仮制作、発表
第19回	・卒業制作プレゼンテーション、表現方法の検討
第20回	・卒業制作プレゼンテーション、表現方法の検討、見直し
第21回	・卒業制作プレゼンテーション、モデル製作1
第22回	・卒業制作プレゼンテーション、モデル製作2
第23回	・卒業制作プレゼンテーション、モデル製作3
第24回	・卒業制作プレゼンテーションパネル製作1
第25回	・卒業制作プレゼンテーションパネル製作2
第26回	・卒業制作最終プレゼンテーション、評価
第27回	・卒業制作、最終プレゼン見直しチェック1
第28回	・卒業制作、最終プレゼン見直しチェック2
第29回	・卒業制作展に向けて1
第30回	・卒業制作展に向けて2

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項

科目名	特別講座			教員名	中森 恭平		
期区分	通年	曜日		時限		形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	7102

授業目的と到達目標

空間デザイン（建築環境デザイン・インテリアデザイン・ディスプレイデザイン・家具）における通常授業ではなかなか体験出来ないそれぞれの現場でのスケジュールに合わせての集中した実習を学ぶ。

授業概要

学外でのデザインの現場見学とレッスンをはじめ、表現としての写真の有効な活用の仕方を現場写真の撮り方とともに作品展なども経験する。そして特別実習として公募展等へのチャレンジをする。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	ブランディングを中心にデザイナーとして20年以上のキャリアを持つ。2018年～株式会社wandervogel&co.代表
各講座への出席や提出	50%	
積極的な授業態度。	50%	
	%	
	%	

教科書

特になし。

参考書・参考文献

参考資料等はコピーにて配布。

参考 URL

2024年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容 (シラバス) (2/2)

科目名	特別講座			教員名	中森 恭平		
期区分	通年	曜日		時限		形態	演習
コース	インテリアデザイン			年次	2	履修コード	7102

授業計画 (予定)

・特別講座 企業におけるデザインの現場見学と講義 (必須) ・特別講座 空間 (ディスプレイデザイン・インテリアデザイン・建築環境デザイン) を具体的に理解出来る講座 ・特別講座 公募展出品 (必須) ※教科としての、時間割にはない科目なので共通した1回ごとの授業内容や計画ではなく、随時各生徒に個人指導する。

受講上の注意

設定された日時に、設定された内容以上の作品を提出する事。定められた日数以上の出席数がある事。担当講師達とのコミュニケーションが豊富である事。

特記事項